

もっとIT社会に貢献できる、新しいFUJITSUへ。

経営の透明性を確保し、スピード経営を追求できる経営体制の構築をはかり、質の高いプロダクト、サービスによるトータル・ソリューションの提供をさらに強化します。

事業ビジョン

FUJITSU(富士通および富士通グループ企業)は、ブロードバンド・インターネット時代を拓く中核企業として、現在、事業の方向性を「最先端、高性能、高信頼性を備えた強いテクノロジーをベースに、主として企業や行政のお客様に品質の高いプロダクト、サービスによるトータルソリューションを継続的に提供していくこと」と定義しています。「ユビキタス」という言葉で表現される、いつでも、どこでも、誰でもITを駆使できる社会を実現するため、常に最先端の技術革新と、お客様の視点に立った事業活動を推進します。

経営体制

2002年には、事業ビジョンの実現に向けて事業体質の強化をはかるため、当社では経営体制の刷新を行い、執行役員制およびビジネスグループ制を導入いたしました。

取締役会の改革と執行役員制の導入

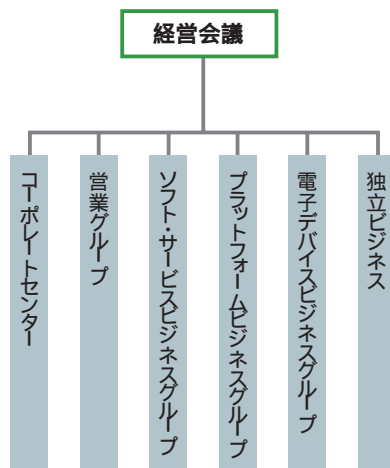
経営の監督機能と執行機能を分離するため、取締役会の改革と執行役員制を導入しております。

取締役会は、株主およびグループ全体の立場に立った経営監督機能に集中。経営執行役(執行役員)には大幅な権限委譲を行い、意思決定の迅速化をはかり「スピード経営」を追求するとともに、経営執行責任を明確にしております。

経営執行に関する重要な意思決定は、社長が主宰し、ビジネスグループ長およびコーポレートセンター長などから構成される経営会議にて行います。

ビジネスグループ制

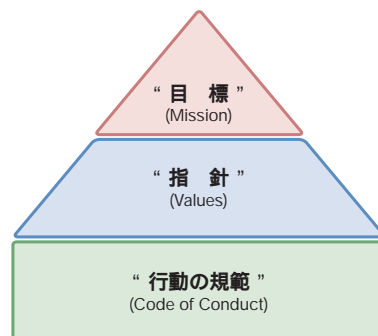
当社の強みとして総合力を活かした「有機体経営」を追求するため、ビジネスグループ制を導入し、機動性と相互の連携を重視した組織としています。ビジネスグループ内ではリソース配分の柔軟性を確保し、シナジーを一層追求。社内および関係会社を「営業」「ソフト・サービス」「プラットフォーム」「電子デバイス」の4グループに編成。特に「プラットフォームビジネスグループ」は通信機器、情報処理機器の2部門を統合し、ネットワーク技術とコンピュータ技術の融合プロダクトの開発を推進しております。また、グループ全体の共通事項担当部門を「コーポレートセンター」とし、グループ戦略の強化とグループ内へのサービス向上をはかっております。



The FUJITSU Way

“The FUJITSU Way”は、「富士通企業行動指針」を起源として、FUJITSU(富士通および富士通グループ企業)が、真のグローバル企業として発展し続けるために、企業・社員としていかに行動すべきかの共通認識を示すものとして2002年に新しく制定されました。

このなかで、一人ひとりの日々の行動の動機付け並びに共通の価値観の一つとして“環境”を掲げ、企業戦略のドライブフォースに位置付けています。



“目標 (Mission)”

経営上の理念を明文化。

FUJITSUは、常に新しい価値の創造に努め、強いテクノロジーをベースにしたプロダクト、サービスおよびソリューションを提供することにより、ネットワーク社会の未来を築くとともに、国際社会・地域社会との共存共栄を図ることを行動の目標とする。

“指針 (Values)”

業務遂行に際して行動の基準となる価値観。

- ・お客さま お客さまの夢、私たちの夢をかたちにする
- ・人材 一人ひとりが主役である
- ・クオリティ 無限にQualityを追求する
- ・環境 **すべてをグリーンに**
- ・成長と利益 “FUJITSU”の信頼とプレゼンスを高める

“行動の規範 (Code of Conduct)”

業務遂行に際して「とるべき行動」「とるべきでない行動」の具体的規定。

- ・人権の尊重
- ・法令遵守
- ・機密保持
- ・知的財産
- ・収賄等の禁止
- ・お客様・取引先との公正な商取引